

ちばの地域福祉

新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン

社会福祉法人生活クラブ
理事長 池田 徹

去る9月17日、厚労省は、「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—」と名づけた文書を公表しました。これは、社会・援護局長、老健局長、雇用均等・児童家庭局長など局長クラスがメンバーになって省内で作成したもので、厚労省が今後の福祉サービスのあり方をどう考えているかがわかります。

そのキーワードは「全世代・全対象型地域包括支援体制」です。そして、その意味を「すべての人が、年齢や状況を問わず、その人のニーズに応じた適切な支援が受けられる『地域づくり』を進める」としています。具体的には、①高齢、障がい、子ども、困窮者、難病患者等の方々に対して包括的な相談から見立て、支援調整の組み立てから資源開発をワンストップで行なう相談支援体制の構築と②多世代交流・多機能型の福祉拠点の整備推進など、高齢、障害、児童等への総合的な支援サービスの提供の二つが柱になっています。

そして、この方向性を既に進めている自治体があります。埼玉県の和光市には3ヶ所の地域包括支援センターがありますが、このセンターを厚労省が構想する全世代・全対象型地域包括支援型の拠点とすべく、高齢、障がい、子ども、生活困窮者の総合相談の場にしようとしているのです。

この方向性は、中核地域生活支援センターが目指し、実践してきたことと一致します。生活困窮者自立支援法における自立相談支援事業は、中核センターをモデルに構想されましたが、それでも「生活困窮」という括りは残りました。しかし、厚労省はこの制約をも取っ払い、全世代・全対象型の相談センターを市町村ごとに設置することを構想しているのだと思います。生活困窮者自立支援法の3年後の見直しでは、この路線が何らかの形で打ち出されてくるものと思われます。

その時、中核センターの役割はどう変化するのか、現場から議論が進められることを期待します。

ちから ちばの福祉力・社会資源

酒地獄からの脱出

NPO法人千葉県断酒連合会
理事長 林 和博

「お酒さえ、お酒さえ飲まなかったら…。」酒害相談でよく聞く言葉で、私の妻も口にしていました。アルコール依存症（アル中）は否認の病気で本人はもちろん家族さえも認めず早期に行政（保健センター）医療や自助グループの断酒会につながる方は少ないようです。「地獄を見ただけで、アルコール依存症のいる家庭を見よ」という話がありますがアルコール依存症は本人だけではなく、家族全体を巻き込んでお酒を飲み続ける怖い病気です。誰でも長い間お酒の飲み過ぎを続けているとアルコール依存症になります。専門医療もありますが、現在の医療で完治することはありません。

また進行性の病気で飲酒を続けていると身体の病気、事故、自殺が主な原因で死に至ります。社会的な影響としては飲酒運転、失業、離婚など多くの大切なものを失うことになります。平成25年厚労省研究班推計では、アルコール依存症で治療が必要な方は全国に109万人といわれています。アル中は中年オヤジのイメージがありますが最近では女性・若者・定年退職後の方々が目立って来ています。

アルコール依存症は病気です。「意志」や「人格」の問題ではなく、「病気」だからお酒がやめられないのです。アル中本人にとって大切な人から順番に悲しい思いにさせていく病気ですが「回復」する病気でもあります。

全国組織の公益社団法人全日本断酒連盟に加盟するNPO法人千葉県断酒連合会は昭和43年設立以来、県内16か所の地域断酒新生会と家族会で酒害者とその家族の酒害相談を行っている市民活動団体です。お酒は一人では、止められません。

断酒会は止めさせたい・止めたい・止め続けたい人のために例会と言う時間と場所を準備しています。「酒のない心豊かで文化的な生活を送る」ために行動する断酒を事業計画とし実践しています。毎日の例会はもとより、「酒なし新年会」に始まり「わかしお一泊研修会」「一日研修会」の二つの研修会の実施と「スポーツ大会」を開催しています。

また、平成30年10月14日に千葉ポートアリーナで第55回全国千葉大会が開催されます。全国から数千人のアル中とその家族が集います。県内会員家族は、一丸となり準備を進めています。断酒例会に参加してみませんか。そこには「酒地獄から脱出」した本人と家族の方々が笑顔で迎えてくれます。

我孫子断酒新生会	04-7183-5341 (佐藤)	市川断酒新生会	047-373-6358 (鈴木)
市原断酒新生会	043-270-4336 (永澤)	浦安断酒新生会	047-355-8757 (堀川)
柏断酒新生会	04-7131-0561 (内海)	鎌ヶ谷断酒新生会	047-443-2557 (飯沼)
かずさ断酒新生会	0439-29-3388 (大川原)	千葉断酒新生会	043-275-1101 (塩川)
つくも断酒新生会	0479-73-5865 (長崎)	流山断酒新生会	04-7192-8577 (荒井)
習志野断酒新生会	047-454-6332 (永野)	野田断酒新生会	04-7125-3050 (榎本)
船橋断酒新生会	047-452-8715 (村井)	松戸断酒新生会	047-388-7623 (君島)
八千代断酒新生会	047-483-0403 (石井)	やちまた断酒新生会	043-443-6262 (高山)
菜の花会 (家族会)	043-292-1324 (林)		

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

特定非営利活動法人「鎌ヶ谷 Jump up の会」理事長 伊藤直子氏に、寄稿頂きました。

『あなたと共に歩みたい！』

特定非営利活動法人鎌ヶ谷 Jump up の会

相談支援事業所 ジャンプアップ

理事長 伊藤直子

この団体は、あの東北地方の沿岸部を中心にしたマグニチュード9.0という日本観測史上最大規模の東日本大震災の際に、『被災地に何かできないか』『何かできるはず』と、鎌ヶ谷 Jump up の会と名称し、ボランティア団体を立ち上げました。ボランティアに入った被災地は、未だ辺り一面が瓦礫の山と、市街地であったはずの中心部に大型船舶が乗り上げ、ビルの3階部分には乗用車が突き刺さったままの状態。一同言葉を失い茫然と立ち尽くし、自然の猛威に愕然とするばかりでした。

その経験は、私の人生観を大きく変える体験となりました。

『今の自分でも何かできるはず！』『継続して活動して行きたい！』

そんな思いが日ごとに募り、被災地だけでなく鎌ヶ谷市や近隣の市や街のために、地域ごとに何が必要なのか、試行錯誤しながら障がい者への支援や、高齢者の社会参加の呼びかけ、居場所づくりをと、多様な活動を現在も継続しております。

平成27年7月1日に障がい者相談支援事業所開設。障がい者の方々の多様なニーズに応えるべく活動するなかで、中核地域生活支援センター・なかまネットの方々の精力的な活動に接することが出来ました。相談者のニーズを的確に判断し、決して甘やかすこともなく、それでいて愛情のある迅速な素晴らしい対応にとっても良い勉強をさせて頂きました。

終りに、表題の『あなたと共に歩みたい！』は、私たち団体のコンセプトであります。

心身に闇を抱えた方がいたならば、その闇の全ての理解が難しくても、人として尊重し、接すれば、共に歩んで行けるのではないのでしょうか。

今後も沢山の方と接する機会があることでしょう。その一人一人の出会いに『あなたと共に歩みたい！』その気持ちを忘れずに進んで行くことが、心からの願いです。





ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

平成27年度 第8回地域移行（退院促進）セミナー 退院促進の今とこれから

～わたしたちは、当事者の気持ちをくみ取れている？～

【日時】平成28年1月16日（土）13：00～17：00

【会場】ホテル「プラザ菜の花」3階大会議室

【内容】13：10～13：40

＜行政報告＞ 千葉県障害福祉課（予定）

13：50～14：40

＜基調講演＞

「当事者の思いに寄り添い、可能性を開く支援～5ピクチャーズ～」

佐藤光正先生（駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授）

15：00～17：00

＜シンポジウム＞

「わたしたちは、当事者の気持ちをくみ取れている？」

当事者・家族・ホームヘルパー・訪問看護師・病院の支援者

【入場料】無料（資料代300円）

【問合せ先】NPO 法人千葉県精神保健福祉協議会

TEL：080-7000-2093（火・水・木曜日）

第7回千葉県障害者グループホーム大会 グループホームで暮らすということ ～変わる制度・変わらない暮らし～

【日時】平成28年1月24日（日）10：00～16：00（受付9：30～）

【会場】千葉県教育会館 【定員】450名 【入場料】無料

【内容】■午前の部＜シンポジウム＞

「グループホームで暮らすということ～変わる制度・変わらない暮らし～」

コーディネーター：

荒井隆一氏（社会福祉法人ロザリオの聖母会ナザレの家あさひ）

シンポジスト：

高梨照子氏（生活援助グループ高梨/千葉県生活ホーム等連絡協議会事務局）

宮代隆治氏（社会福祉法人さざんか会 理事長）

橋本めぐみ氏（社会福祉法人彩会喜楽家 管理者）

中田健士氏（株式会社 MARS グループホーム my 夢 管理者）

■ 午後の部＜分科会（2部構成）＞

【申込み等詳細】千葉県健康福祉部障害福祉課ホームページ ※12月中掲載予定

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/grouphome/grouphome.html>)

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 代表者：中塚博勝

事務局：夷隅ひなた（夷隅圏域）いすみ市大原8927-2 TEL:0470-60-9123 FAX:0470-60-9124

編集：君津ふくしネット（君津圏域）富津市青木2-16-14 TEL:0439-27-1482 FAX:0439-88-1481

※内容についてのお問い合わせは、君津ふくしネット（担当：玉手）までお願いします。